



内閣総理大臣杯 第55回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会 いきいき茨城ゆめ国体ウエイトリフティング競技リハーサル大会 実施要項

1. 主催 (公社)日本ウエイトリフティング協会／高萩市／高萩市教育委員会
いきいき茨城ゆめ国体高萩市実行委員会
2. 主管 茨城県ウエイトリフティング協会
3. 後援 スポーツ庁／茨城県／茨城県教育委員会／(公財)茨城県体育協会
いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会／高萩市体育協会
4. 期日 平成30年11月22日(木)～11月25日(日)
5. 会場 高萩市文化会館
茨城県高萩市大字高萩6番地 TEL 0293-23-7411
6. 日程 (1)総合開会式 平成30年11月20日(火)午後5時30分～
高萩市総合福祉センター 多目的ホール
(2)審判・監督会議 平成30年11月22日(木)午後5時～
(内閣総理大臣杯返還式) 高萩市役所 4階大会議室
(3)総合閉会式 平成30年11月25日(日)競技終了後
高萩市文化会館 ホール
(4)競技会 別紙参照(参加人数により、変更することもある)
7. 種別 個人選手権・団体対抗選手権
8. 種目 規定2種目(スナッチ・クリーン&ジャーク)
9. 階級 8階級(56・62・69・77・85・94・105・+105kg級)
10. 競技規則 平成30年度(公社)日本ウエイトリフティング協会制定の競技規則による。ただし、
(1)抽選は、資格審査会でパソコンを用いて競技委員長が一括して行う。
(2)選手紹介は行わない。
11. 競技方法 (1)競技規則6による。
(2)団体対抗選手権
参加選手団(1名のみ)の出場選手も得点対象となる)の得点の合計によって順位を決定する。各階級のトータル16位までを得点対象とし、次の表に掲げる得点を加算する。
なお、得点対象者は、1団体8名以内、1階級2名以内とする。
(参加者がこの枠を超える場合は、別チーム名で登録するか、または、A・Bチームとして登録しても良い。ただし、この場合、申込後の選手の入替えは認めない。)
注)同一チームから9名あるいは同一階級に3名登録した場合、9人目の選手若しくは3人目の選手は個人出場扱いとなるが、この場合でも団体得点の対象となるので、結果によっては9名又は同一階級の3名が得点を獲得することがある。その場合得点集計に混乱が生じるので9人目若しくは3人目の所属名は別チーム名又はA・Bで登録すること。





順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得点	17点	15点	14点	13点	12点	11点	10点	9点
順位	9位	10位	11位	12位	13位	14位	15位	16位
得点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

得点合計が同数の場合は、上位者の多い団体が上位になる。

上位者も同数の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

12. 参加資格

- (1) (公社)日本ウエイトリフティング協会に平成30年度登録完了した者。
- (2) 2000年4月1日以前に生まれた者であること。ただし、全日本学生連盟に加盟している学生と、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒は除く。
- (3) 平成28・29・30年度において、次に定める標準記録に到達している者であること。
また、その成績が都道府県単位の競技会で達成されたものである場合は、その記録表を添付すること。ただし、開催地に登録簿のある選手については、標準記録に到達していなくても、出場を認める場合がある。
※なお、下記階級のいずれかの標準記録に到達している場合は、本大会への出場資格を有するものとし、申込時の階級は任意とする。

[標準記録]

(単位：kg)

階級	56	62	69	77	85	94	105	+105
トータル	155	165	180	190	200	210	210	210

(4) チーム編成の条件

ア) 地域スポーツクラブチーム

同一都道府県内に、現住所又は勤務先を置く選手で編成されたチーム。

イ) 官公庁等及び企業チーム

同一都道府県内に勤務する者で編成する職場チーム。

ただし、同一事業体に勤務する者で、活動拠点が同一都道府県でない場合は、本社機能が存在する都道府県のチームとして申し込むことができる。

13. 出場承認

- (1) 参加資格審査会において出場承認をする。
- (2) 出場不承認者には、10月22日(月)までに申込責任者宛てに連絡する。
- (3) 参加承認者には連絡しない。

14. 申込方法

- (1) 申込責任者は「総監督者又は所属長」とし、都道府県協会会長の承認を必要とする。
(クラブチームや都道府県単位で申し込む場合は総監督者とし、単独の官公庁等や企業チームの場合は所属長とする。)
※総監督者とは、複数の団体所属の選手がチームとして編成された場合の代表監督のことである。
- (2) 別紙「申込要領」を参照のこと。
- (3) 大会参加申込書(別紙申込書:様式1)を3部作成(複写可)し、都道府県協会会長の承認(捺印)後、下記の2箇所に1部ずつ送付すること。なお、1部は本人控えとする。
 - ア) 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公社)日本ウエイトリフティング協会
TEL 03-3481-2359 FAX 03-3481-2394
 - イ) 〒318-8511 高萩市本町一丁目100番地の1
高萩市教育委員会国体推進課内
いきいき茨城ゆめ国体高萩市実行委員会事務局
TEL 0293-23-2019 FAX 0293-23-1126
- (4) 可能な所属・支部は参加申込書をエクセル形式のままEメールにて送信すること。
Eメールアドレス: kokutai@city.takahagi.lg.jp
※ 上記にメールを送信した場合でも上記2箇所には必ず郵送すること。
- (5) 申込締切日 平成30年10月5日(金) 必着





15. 宿泊申込 別紙「宿泊要領」による。

16. 参加料 (1)1名につき 3,000円
(2)参加申込書提出前に、下記金融機関に振り込むこと。

金融機関名	常陽銀行	高萩支店
口座番号	1716093	普通預金
	(イキイキバラキユメコクタイタカハギンジッコウインカイカイチョウオオバツノリ)	
口座名	いきいき茨城ゆめ国体高萩市実行委員会	
	会長 大部 勝規	

※ただし、振込手数料は振込者の負担となります。

(3)振込後、振込受付書又は取引明細書の写しを、申込先(イ)に参加申込書と一緒に、送付すること。

17. 表彰 (1)内閣総理大臣賞(杯・賞状)は、最高得点を獲得した団体に授与する。

(2)文部科学大臣賞(賞状)は、最優秀選手に授与する。

(3)日本ウエイトリフティング協会会長賞

ア)団体選手権は、8位までを入賞とし、1~3位の団体に賞状及び賞品を、4位~8位の団体に賞状を授与する。

イ)個人選手権は、各階級8位までを入賞とし、1~3位の者に賞状及びメダルを、4位~8位の者に賞状を授与する。また、各階級スナッチ及びクリーン&ジャークの1~3位の者に賞状を授与する。

ウ)部門賞

(ア)地域スポーツクラブチーム

(イ)官公庁等チーム

(ウ)企業チーム

上記の部門ごとに3位までを入賞とし、1~3位の団体に賞状を授与する。

18. ドーピングコントロール

(1)本競技会は、日本アンチ・ドーピング規定に基づくドーピング・コントロール対象大会である。

(2)本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規定に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。

(3)18歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を日本ウエイトリフティング協会へ別途提出している者のみエントリーできる。

(4)本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規定違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規定違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規定に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(5)競技会・競技外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため競技または運動終了後2時間の安静が必要になるので留意すること。

(6)日本アンチ・ドーピング規定の詳細内容およびドーピング検査については公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認すること。

19. 大会期間中の肖像権について

大会期間中に撮影された写真は、いきいき茨城ゆめ国体高萩市実行委員会又は高萩市が作成する報告書、広報誌、ホームページ、Facebook等に掲載されることがある。

20. その他 (1)申込後の「階級変更」は認めない。

(2)申込後に出場の取り消し、若しくは棄権した場合の参加料は返却しない。





- (3) 申込後において、団体選手権出場者に事故が生じた場合は、同一階級に限り選手の交代を認める。(交代選手が競技会に参加登録していなくても大会要項 12 の参加選手に該当する選手であれば交代を認める。) この場合、最終の期限は監督会議とする。
- (4) 申込責任者は、出場選手の健康状態を確認し、参加申込をすること。
- (5) 競技会中における選手の負傷事故及び宿舎での飲食による食中毒等については、主催者側において応急処置をするが、その後の責任は主催・主管側で負わない。なお、これらの事故が発生した場合は、速やかに監督者を通じて大会実施本部に届け出ること。
- (6) エントリー数によっては競技日程を変更するので、監督会議には必ず出席すること。
- (7) 大会プログラムに掲載する個人情報は、①氏名②都道府県名③所属④生年とする。

